



ICDAホールディングス

(証券コード3184 東証二部・名証二部)

2015年7月

名証IRエキスポ2015 会社説明会資料

ICDAホールディングス株式会社



ICDAホールディングス

International.....国際的

Conglomerate.....複合企業体

Distribution.....流通

Automobile.....自動車

～自動車に関わる国際的流通複合企業体～

- 社名
- 設立
- 本社
- 代表者
- 資本金
- 発行済株式総数
- 事業内容
- 売上高
- 経常利益
- 従業員数

ICDAホールディングス株式会社
(International Conglomerate of Distribution for Automobile)

2009年10月1日

三重県鈴鹿市飯野寺家町234番地の1

代表取締役社長 向井弘光

1,161百万円

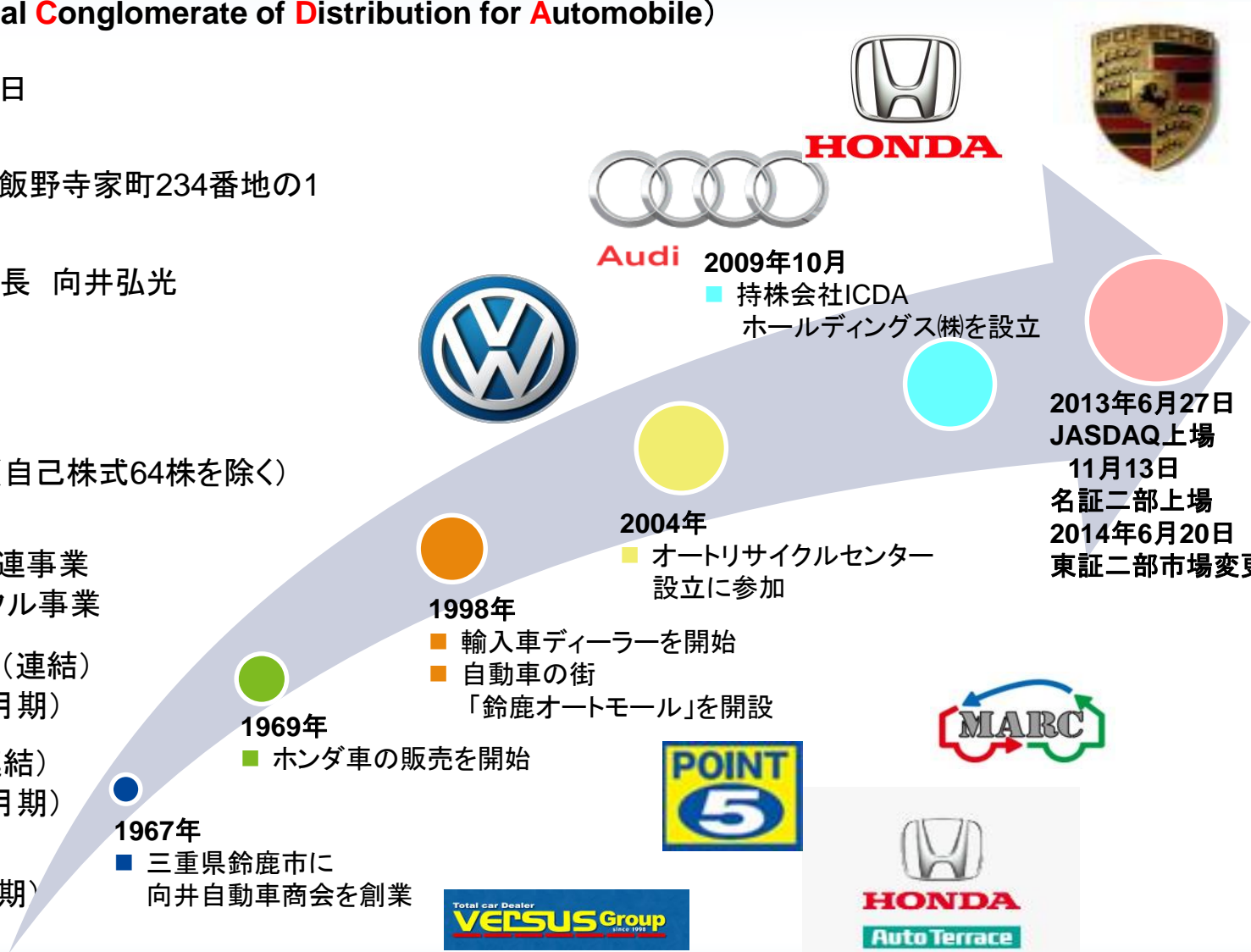
2,099,936株(自己株式64株を除く)

自動車販売関連事業
自動車リサイクル事業

24,522百万円(連結)
(2015年3月期)

535百万円(連結)
(2015年3月期)

358名(連結)
(2015年3月期)



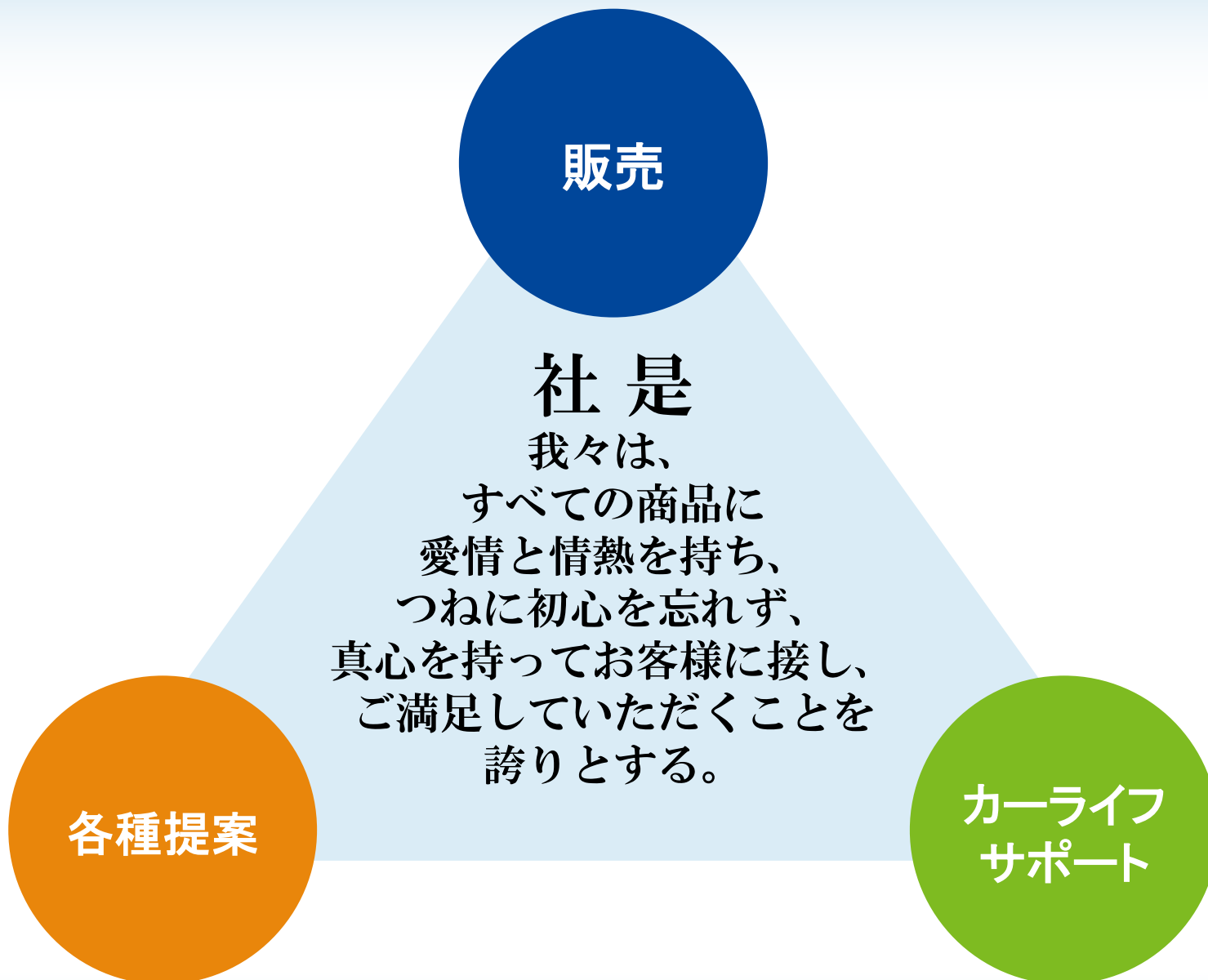


昭和42年5月 向井自動車商会(現株)オートモール)創業

最初は、ホンダに断られ、日産系列の地区サブディーラーとしてスタート。



1年後、正式にホンダ車ディーラーとして新たにスタート。





ICDAホールディングス

(株)ホンダ四輪販売
三重北

- 新車販売(ホンダ正規ディーラー)
- 中古車販売・買取(全メーカー)

自動車販売関連事業

(株)オートモール

- 新車販売
(ポルシェ・Audi・VW正規ディーラー)
- 中古車販売・買取(全メーカー)

(株)マーク・コーポレーション

- 鈴鹿オートリサイクルセンター

自動車リサイクル事業

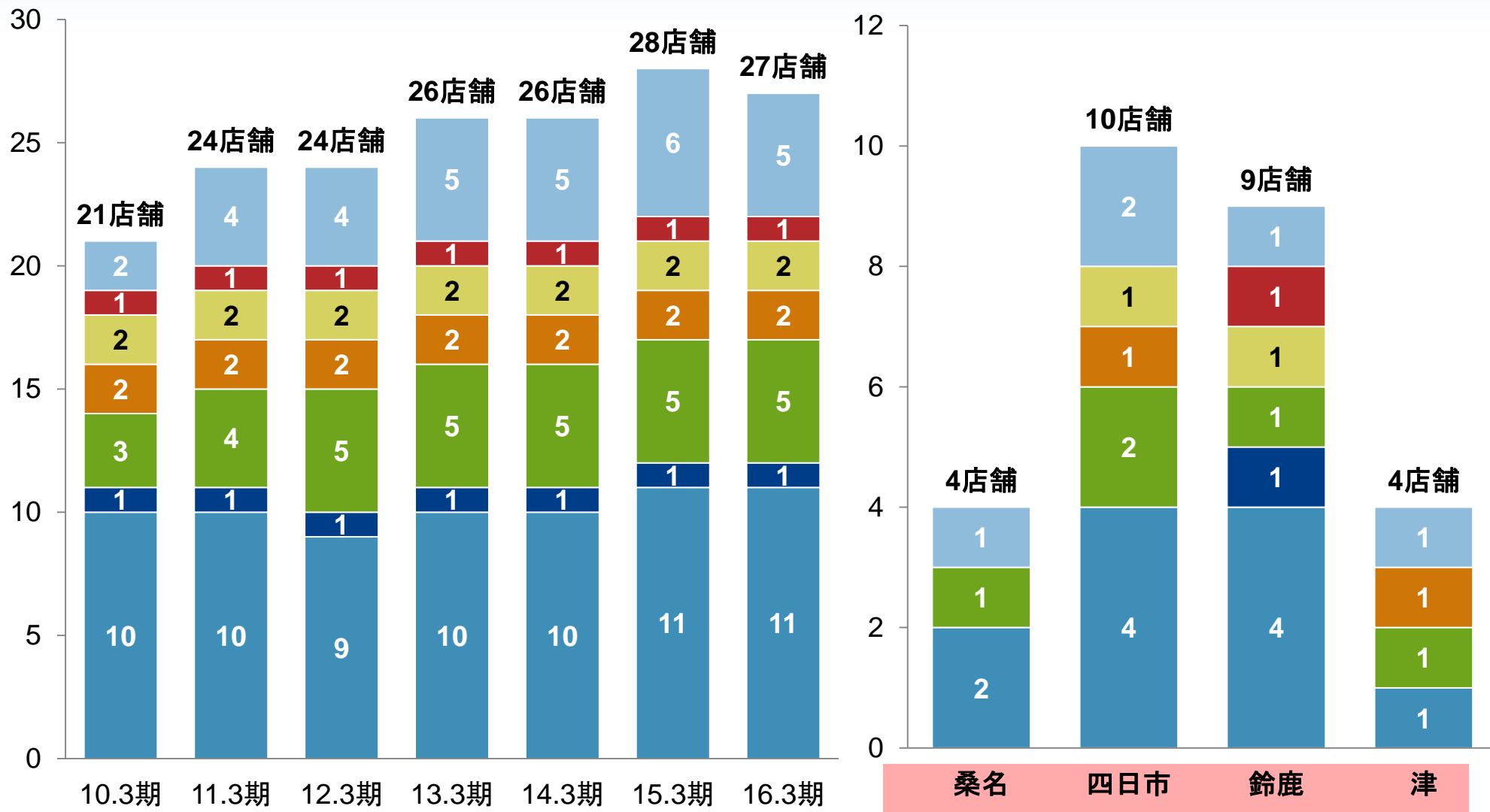
■ 様々な価格帯の自動車に対応することで、幅広い顧客層を獲得

★ はオリジナルブランド

店舗ブランド	業態	購入層とブランドの特徴	価格帯
ポルシェ	正規ディーラー	富裕層・本格派 車大好き・複数保有	高
Audi	正規ディーラー	知性派 医師・学者等	
Volkswagen	正規ディーラー	ブランド志向の女性が多い	
ホンダカーズ	正規ディーラー	ブランド志向が多い広領域ユーザー	中
★ ヴァーサス	中古車業態	全メーカー取り扱い	
オートテラス	中古車業態	ホンダ車専門	低
★ POINT⑤	中古車業態	全メーカー取り扱い 買取強化店・販売は低年式多走行車を中心	

出店状況 (2015年6月末現在)

■ POINT⑤
 ■ ポルシェ
 ■ VW
 ■ Audi
 ■ ヴァーサス
 ■ オートテラス
 ■ ホンダカーズ



地域名	人口比率	店舗数	範囲
桑名	7.7%	4	桑名市・いなべ市・桑名郡・員弁郡
四日市	16.8%	10	四日市市・三重郡
鈴鹿	10.8%	9	鈴鹿市・亀山市
津	15.4%	4	津市
松阪	9.1%	—	松阪市・多気郡
伊勢	7.0%	—	伊勢市・鳥羽市・志摩市・度会郡
伊賀	5.1%	—	名張市・伊賀市
尾鷲	1.0%	—	尾鷲市・北牟婁郡
熊野	1.0%	—	熊野市・南牟婁郡
合計	73.9%	27	

 出店済エリア 未出店エリア

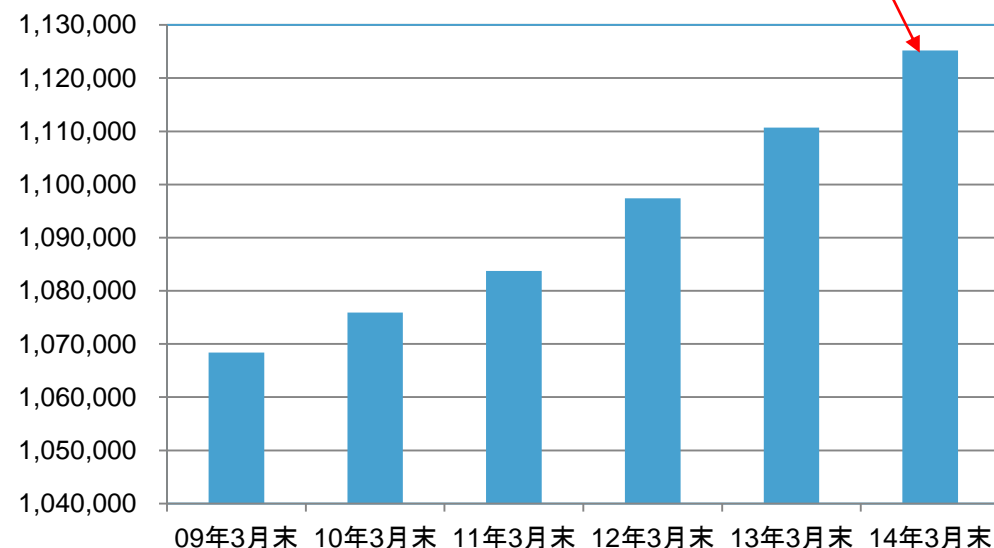
出所：三重県公式HP 2014年10月1日時点、「三重県年齢別人口調査結果」より当社作成

東海三県の自家用乗用車(※) 保有状況(2014年3月末)

	普及台数/世帯 (台)	全国順位	保有台数 (台)	全国順位
愛知	1.298	26位	4,018,405	1位
岐阜	1.605	6位	1,272,291	16位
三重	1.464	14位	1,125,192	20位

出所：一般財団法人 自動車検査登録情報協会 資料より当社作成

三重県の自家用乗用車保有台数推移(台)

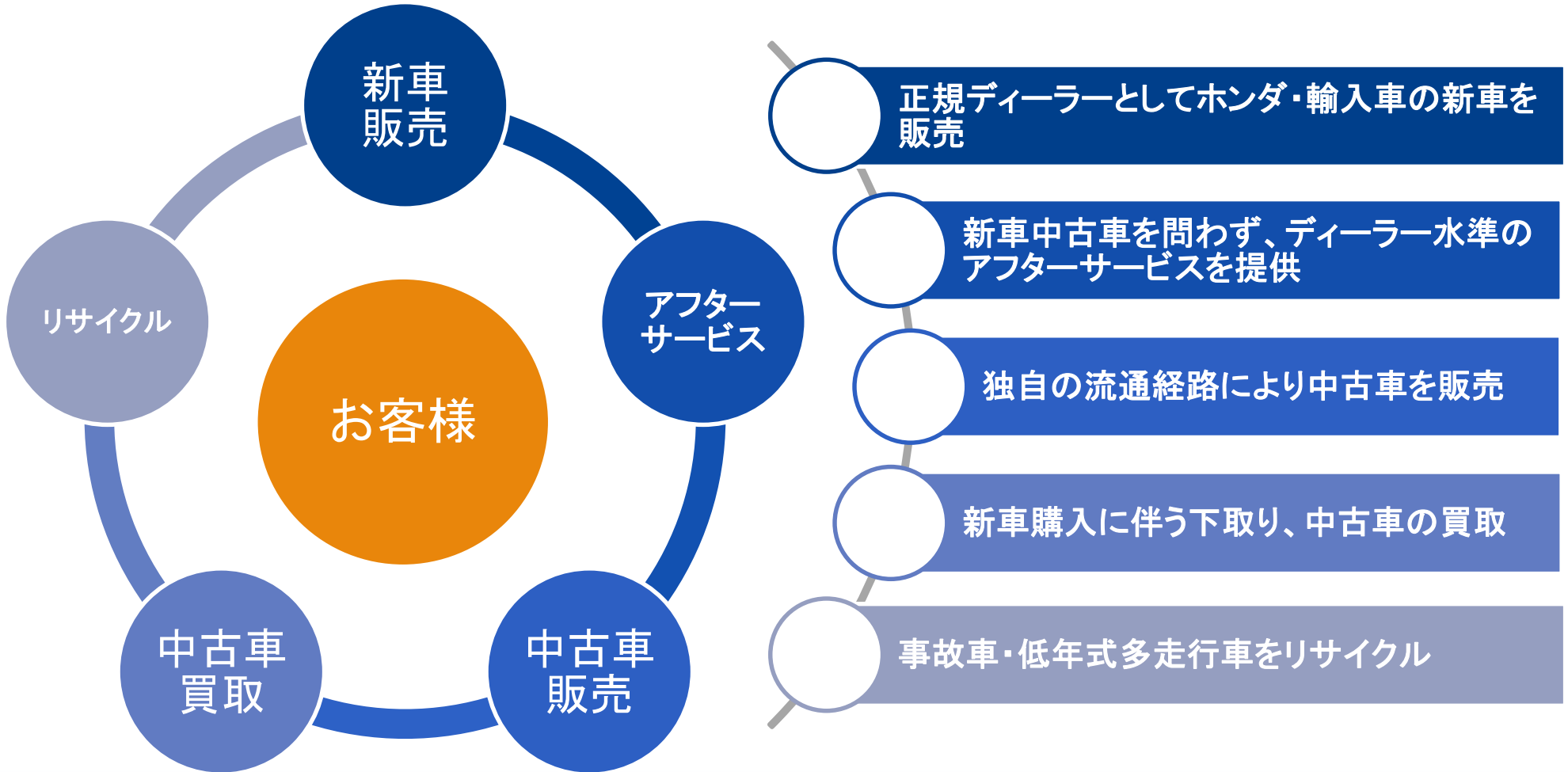


(※)自家用乗用車・登録車と軽自動車の合計

出所：(社)日本自動車販売協会連合会三重県支部「三重県自動車数要覧」より当社作成

バリューチェーンクロス・ミックスビジネスについて

■ 自社グループにおいて、一連の業務を行うことでお客様への提案内容が拡大



■ バリューチェーンを自社グループで構成することによる効果

①収益機会の増加

②独自の中古車流通

③リユースパーツの活用

④店舗開発ノウハウ

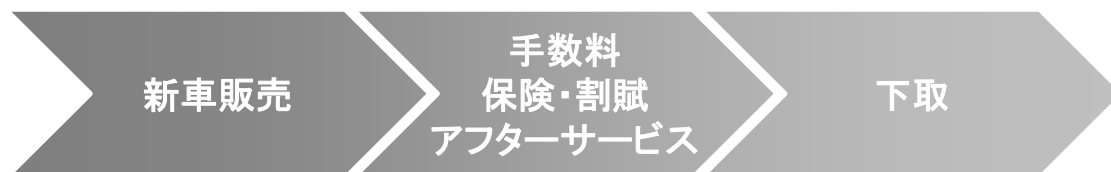
①-1 収益機会の増加

- 一般的な新車ディーラーにおけるバリューチェーンビジネスと、ICDAのバリューチェーンクロス・ミックスビジネスの比較

ICDAのバリューチェーンクロス・ミックスビジネス

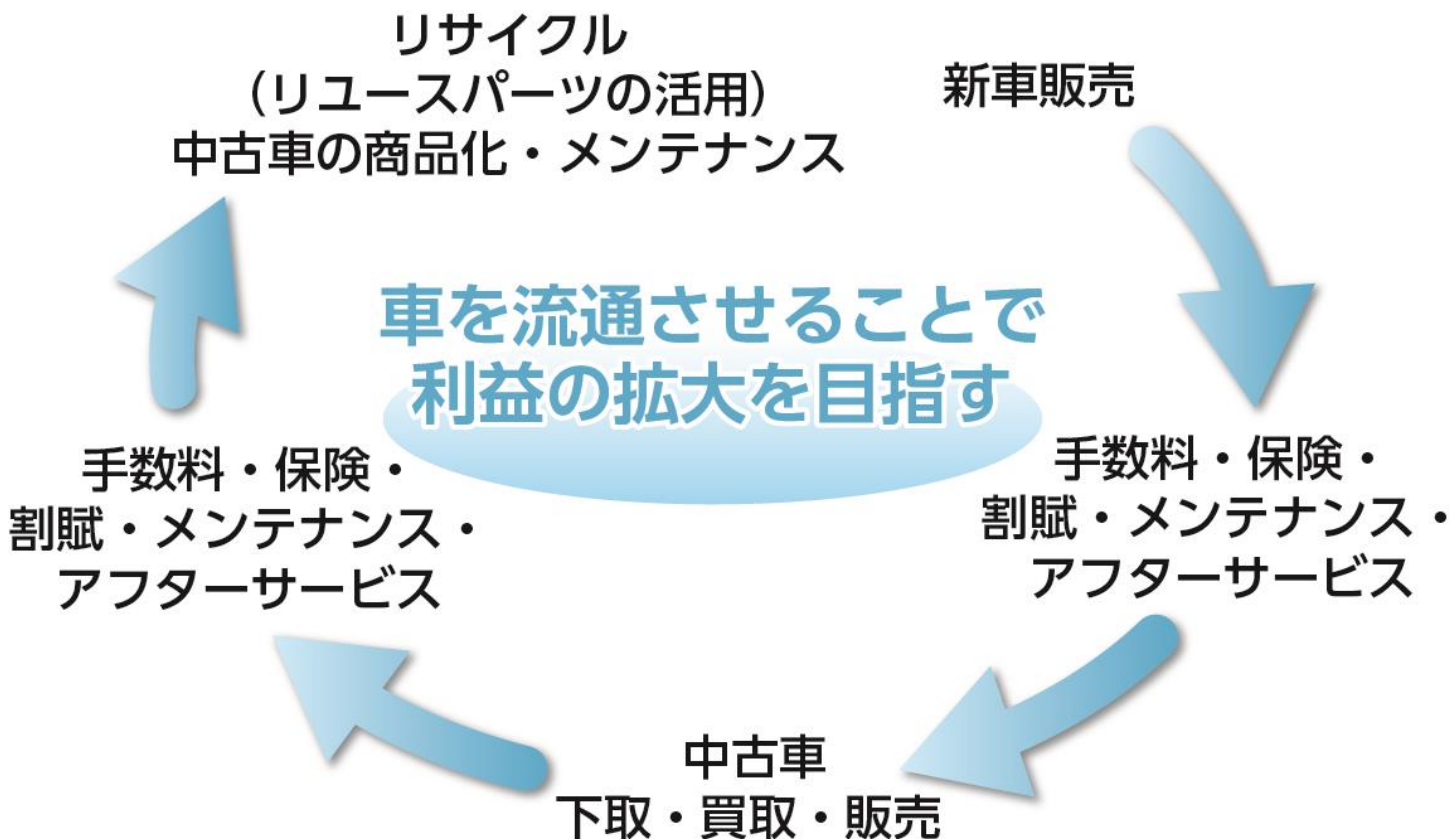


新車ディーラーにおける一般的なバリューチェーンビジネス



①-2 収益機会の増加

- 自社グループにて新車販売・中古車下取・買取・販売、リサイクルを一貫して手がけることにより1台の自動車が流通する際の収益機会が増加



②独自の中古車流通(グループ内流通でバリューを追求)

■車の種類・状態等に合わせ、グループ内で効率よく流通

POINT⑤とMARCがあるから
どんな車も買取や下取りが可能



中古車の確保・販売に有利!



③リユースパーツの活用(顧客満足度の向上)

- 品質の高いリユースパーツを提案⇒低コストでの修理が可能⇒顧客満足度が向上



④店舗開発ノウハウ

- 複数のブランドを組み合わせることでマーケットに合わせた店舗設計が可能
- 選択肢が多い店舗を実現することでターゲット層が拡大し、集客力が向上

(Ⅰ)複合型店舗

- 新車ディーラーを核とした多数複合店舗
- 敷地面積10,000m²以上

(Ⅱ)小規模併設 店舗

- POINT⑤との併設による複合店舗
- 低コストでの出店が可能

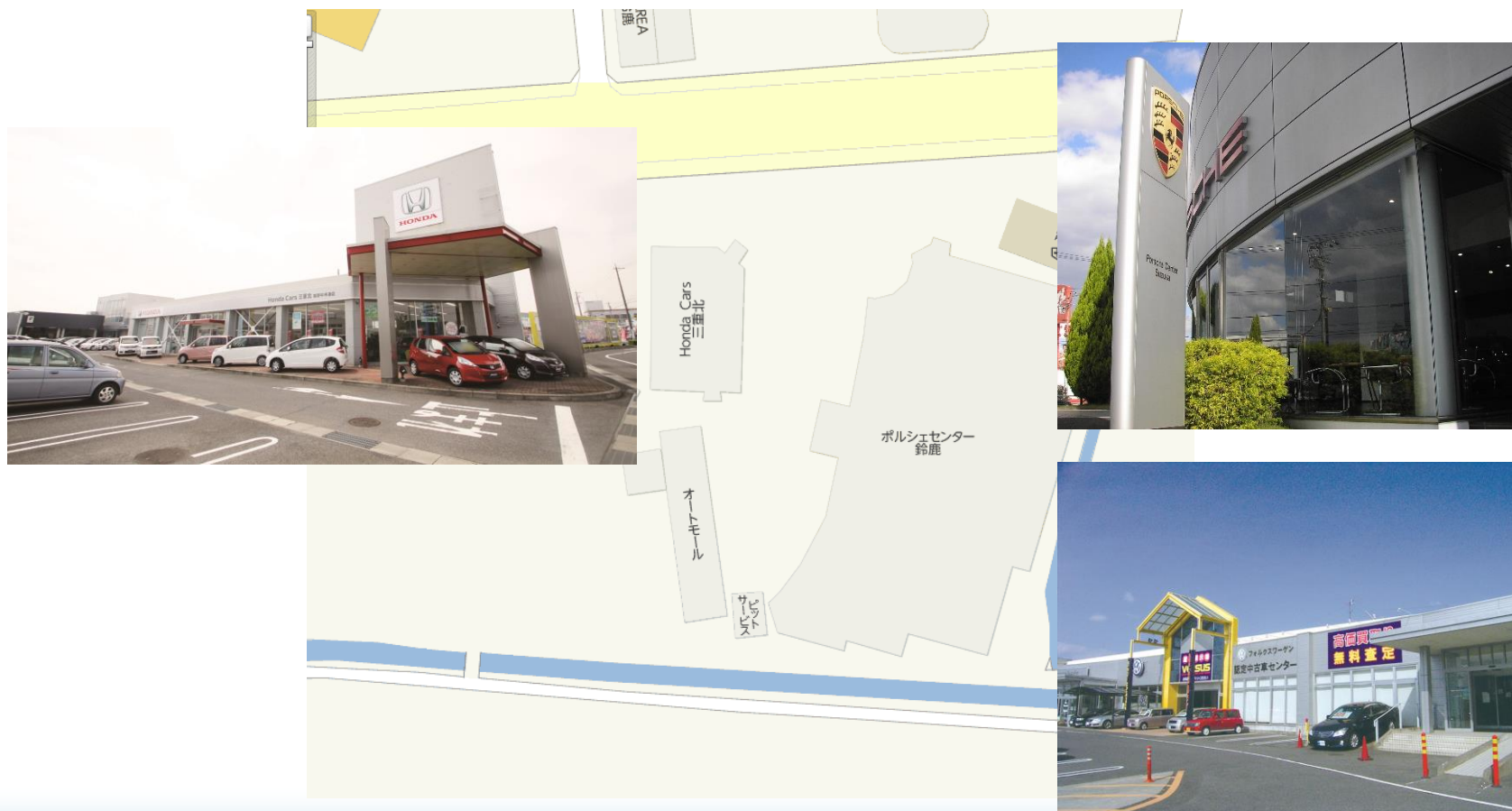
(Ⅲ)隣接型店舗

- 商業施設に隣接した土地への出店
- 商業施設との共同開発による出店

④(Ⅰ)複合型店舗(鈴鹿オートモール)

- 国産車販売・輸入車販売・中古車販売店舗を組み合わせた日本初のコンセプトの複合型店舗「オートモール」

ホンダカーズ三重北飯野中央通店、ヴァーサス鈴鹿店、ポルシェセンター鈴鹿



④(I) 複合型店舗(四日市オートモール)

- 自社グループのブランドを複数組み合わせることで、新車(ホンダ車・輸入車)・中古車の販売とメンテナンス等のサービスが同時に可能
- 富裕層から若年層までの広いターゲット

ホンダカーズ三重北四日市あかつき台店、ヴァーサス四日市東インター店
アウディ三重四日市、フォルクスワーゲン四日市



④(I) 複合型店舗(桑名オートモール)

- 新車(ホンダ車)・中古車の販売とメンテナンス等のサービスが同時に可能
- 4層式のカータワー設置

ホンダカーズ三重北桑名陽だまりの丘店、ヴァーサス桑名店



④(Ⅱ)小規模併設店舗(桑名大桑通、四日市松本)

- 買取強化ブランドであるPOINT⑤を組み合わせることで出店することにより、比較的価格帯に対するニーズを持つユーザーの集客に繋がる
- 小規模な店舗にて、少ない人数での効率的なオペレーションが可能

POINT⑤桑名、ホンダカーズ三重北桑名大桑通店

POINT⑤四日市松本、ホンダカーズ三重北四日市松本店



④(Ⅲ)隣接型店舗(鈴鹿道伯)

- 商業施設に隣接していることで集客力が向上
- 自社グループの中から、商業施設に来店するファミリー層(資産形成層～富裕層)に対応したブランドを出店

ホンダカーズ三重北鈴鹿道伯店、POINT⑤鈴鹿店、フォルクスワーゲン鈴鹿



自動車リサイクルの工程について



①車両引取り

- ・ 輸送会社と提携
- ・ 早期の集荷作業



②車両保管ヤード

- ・ 800台の平置きが可能な敷地
- ・ 重ね置きしない丁寧な保管



③前処理棟

- ・ リサイクル法を遵守した作業
- ・ フロンガス回収・エアバック車上破壊



④液抜き棟

- ・ 燃料・オイル類・ラジエター液の回収



⑤⑥反転機

- ・ エンジン・足廻り部品の取り外し



⑦ライン作業場

- ・ 1台の車両に対し2名で作業
- ・ 丁寧な「手バラシ」解体



⑧EPリフト作業場

- ・ 中古部品生産の専用リフト
- ・ 質の高い商品を生産



⑩300トンのプレス

- ・ スクラップボディのプレス
- ・ 70cm×70cm×70cmの形にプレス



プレス出荷

- ・ 鉄鋼メーカーに出荷

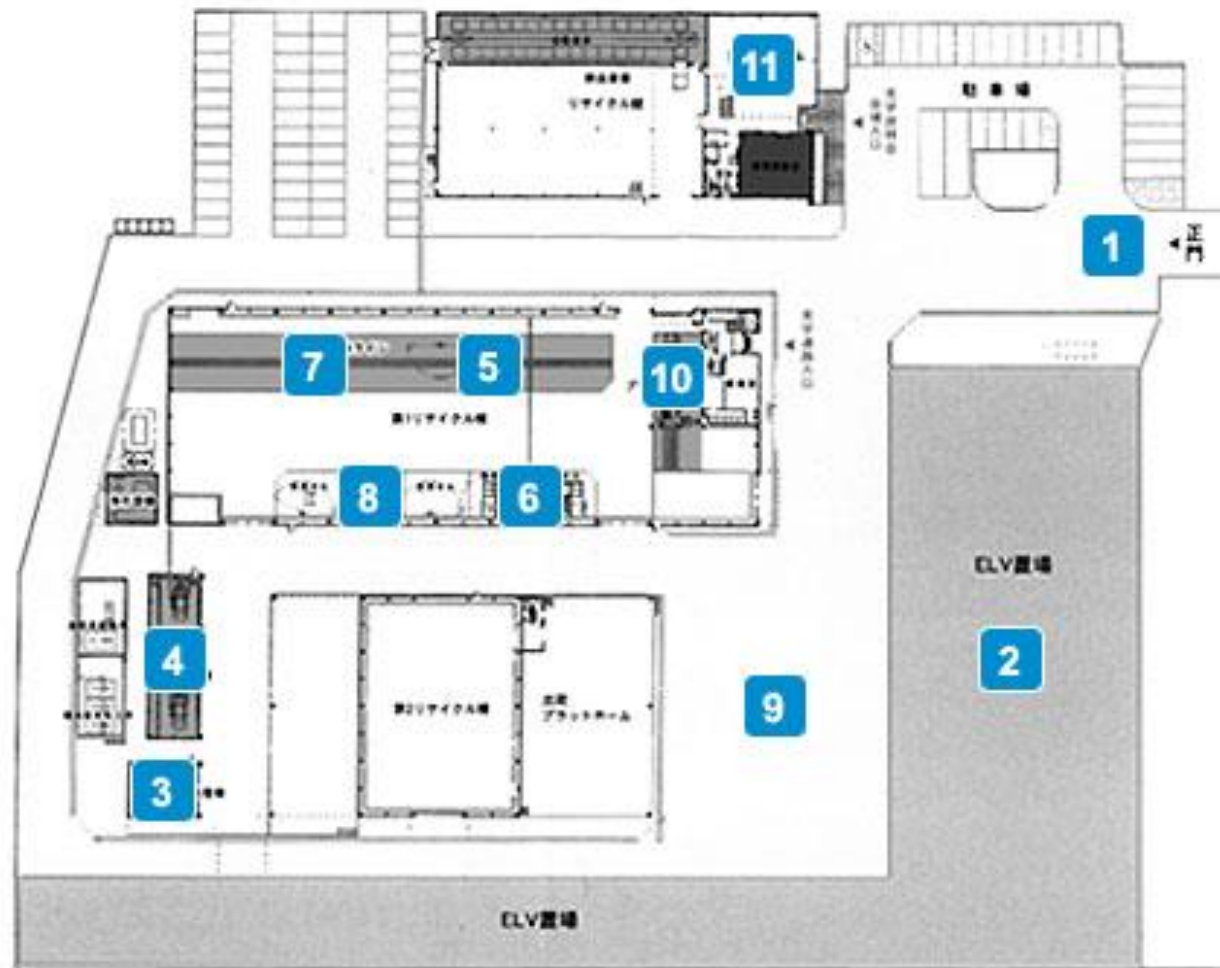


国内行き中古部品

- ・ 1万点の在庫保管スペース
- ・ バーコード管理された在庫

鈴鹿オートリサイクルセンターの概要

- 1 車両引取り
- 2 車両保管ヤード
- 3 前処理棟
- 4 液抜き棟
- 5 反転機1
- 6 反転機2
- 7 ライン作業場
- 8 EPリフト作業場
- 9 中古部品輸出
- 10 300Tプレス
- 11 ショールーム

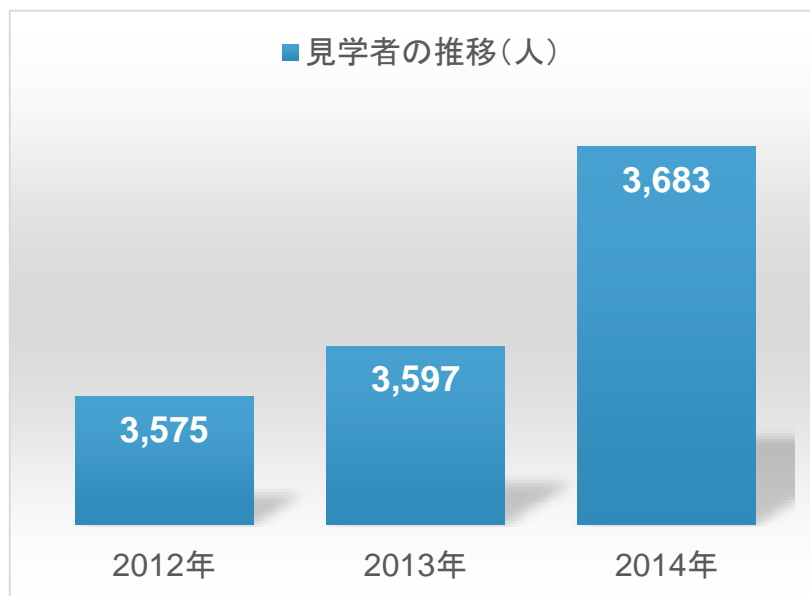


鈴鹿オートリサイクルセンター (レアアース磁石回収システム)

- 「独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構」(NEDO助成事業)

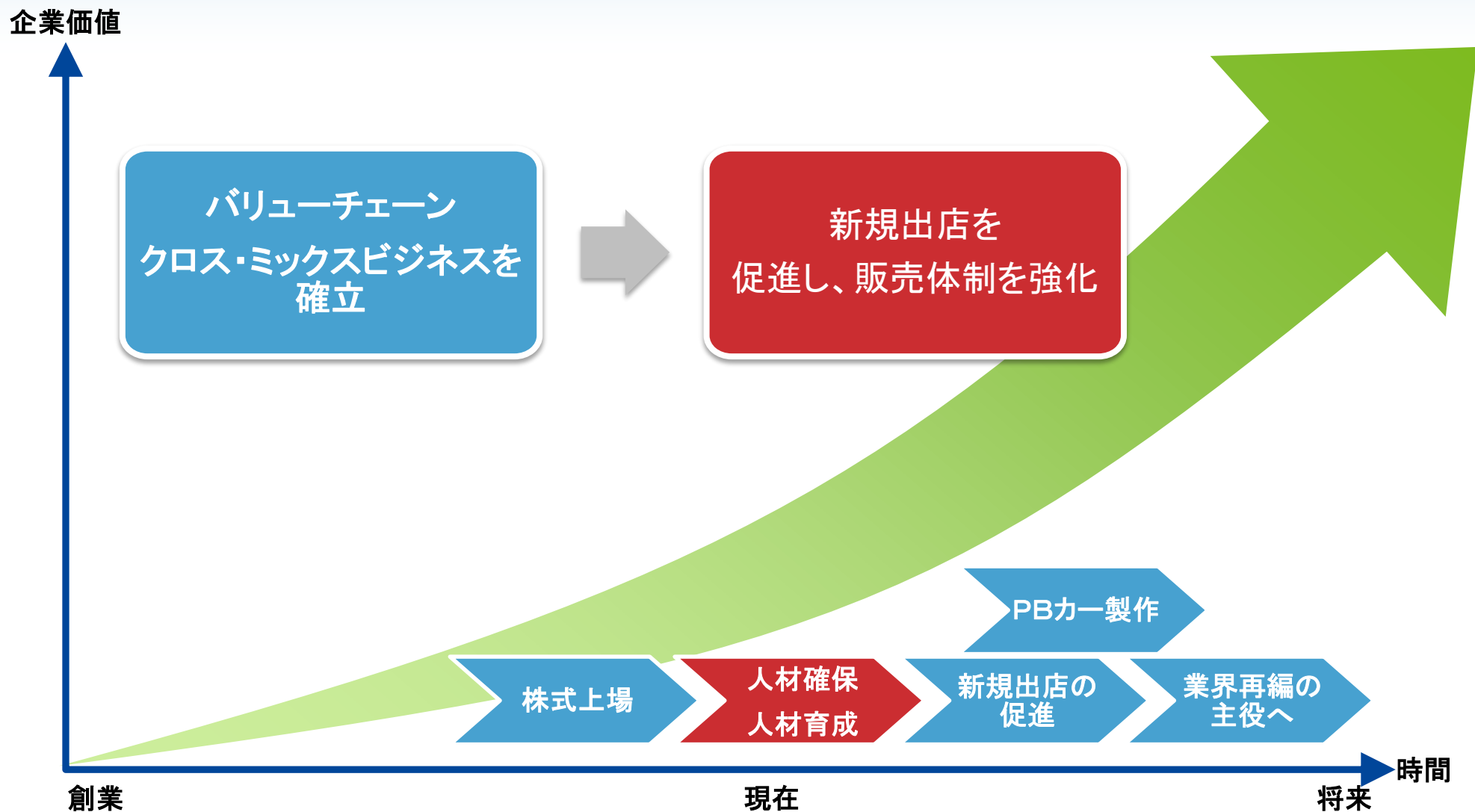


- 鈴鹿オートリサイクルセンター内に、自動車リサイクル館や教室を併設
- 年間3,500名を超える見学者を迎えて、環境問題に関する啓蒙活動を実施
- 小学校5年生対象の社会科「参考資料」に、同社の解体作業の写真が掲載

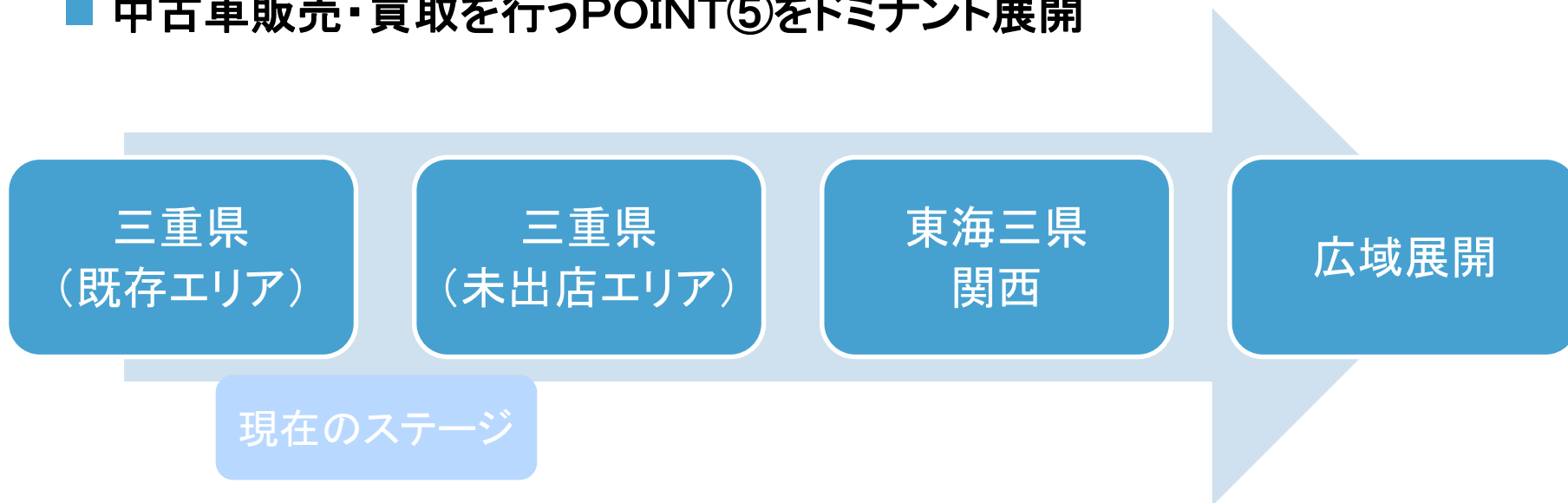


小学生の社会科見学が約8割を占める

中期の戦略と経営方針



- 出店余地がある三重県での複合型店舗の推進
- 中期的にはM&Aを踏まえ出店エリアを東海三県・関西の近隣地区へ拡大
- 中古車販売・買取を行うPOINT⑤をドミナント展開



出店エリア選定基準

人口3万人以上の都市

交通インフラが未整備な地域

1世帯あたり自動車所有台数
1.0台以上

- 八野モータープール(三重県鈴鹿市)が平成26年3月に完成
- 路上積み下ろしが、自動車業界において問題となっている

【今後の活用方法】

PBカー(自主企画カスタマイズカー)製作工場
グループ新車・中古車デポックスセンター

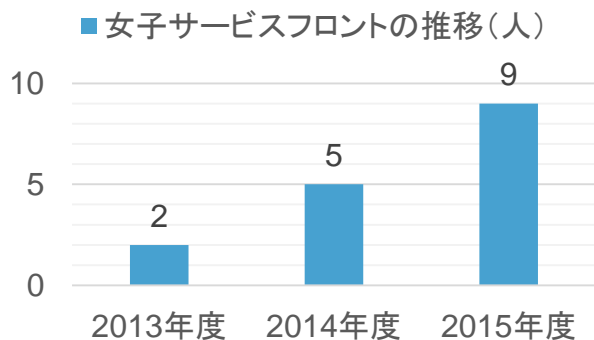


約20,000坪の敷地面積

- 全国的に珍しい、自動車営業・自動車整備士・サービスフロントに女子力を活用
- 女性目線を活かした商談・接客、自動車整備の効率化



今期、女子サービスフロント登用拠点は9店舗を予定。



掲載日 中日新聞朝刊 平成26年(2014年)7月2日11ページ
 中日新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

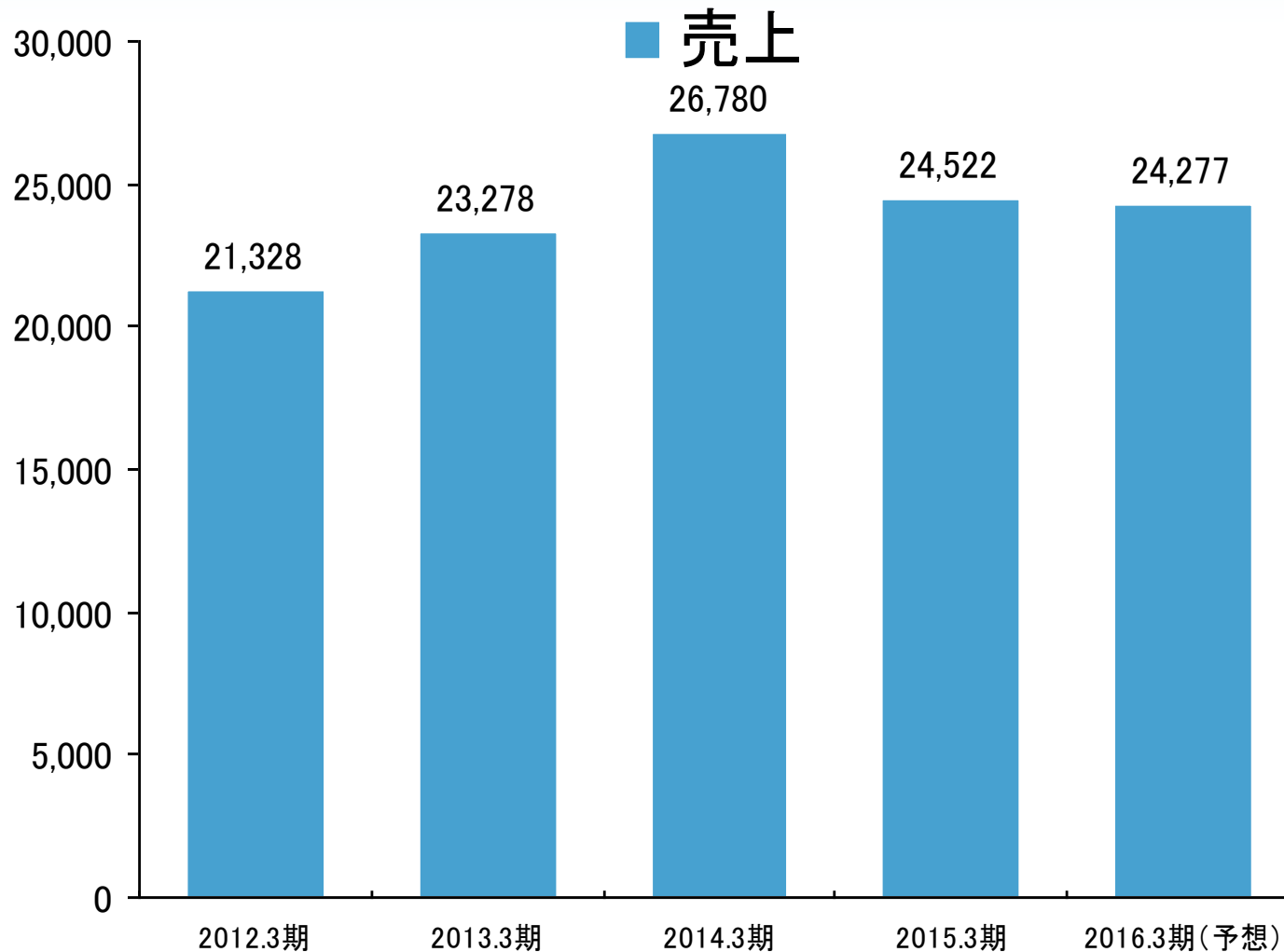
- 2015年3月に、三重県亀山市の大型団地近隣に新店舗用地を取得
- 約11,000坪の広大な敷地に、新しいモール形式のライフ・ミックス・オートモール(自動車販売&集客の街)を構想中
- 自動車販売だけでなく、スーパー等のテナントを誘致する複合施設として今後開発予定



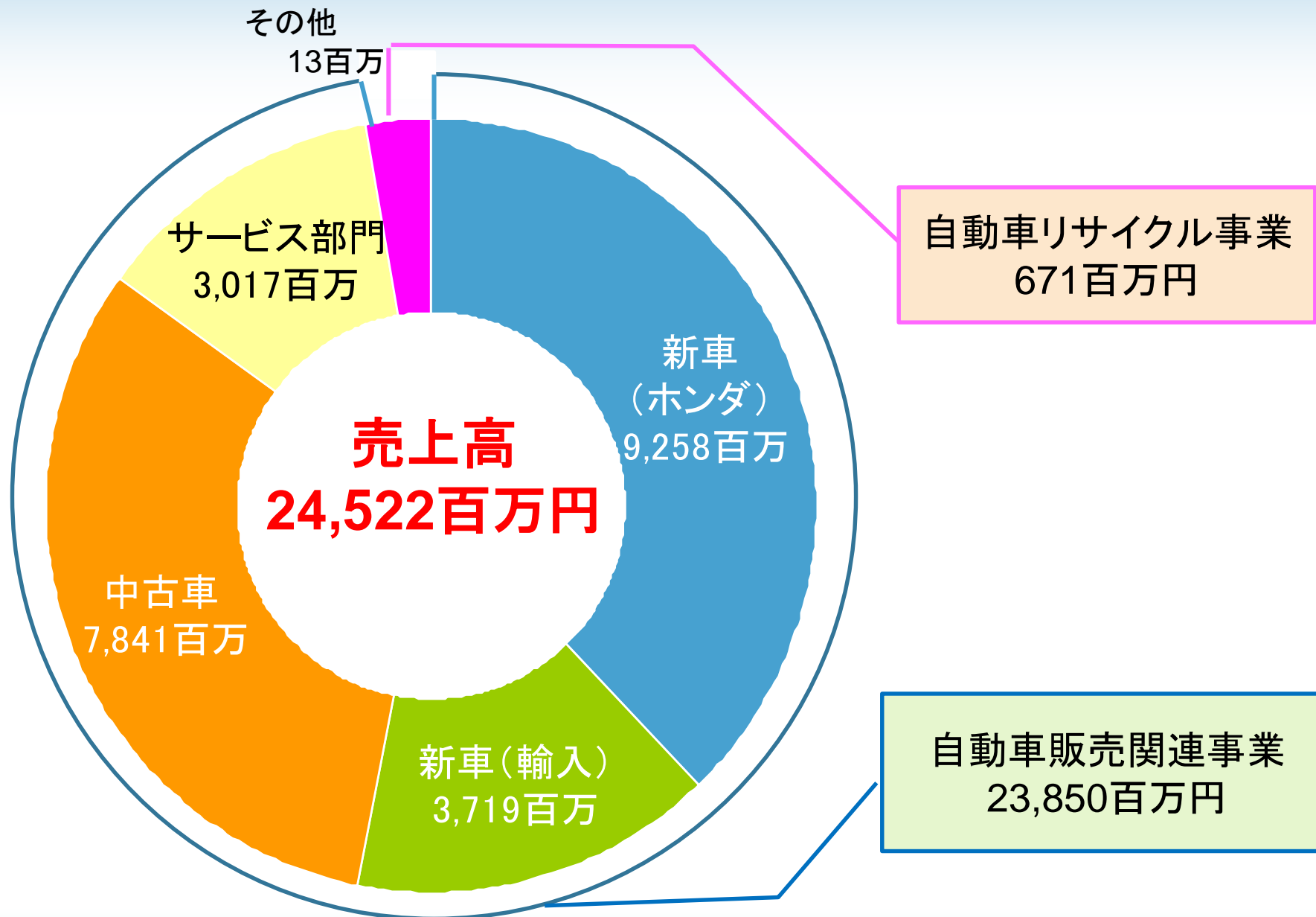
業績と株主還元について

業績推移と今期予想(売上高)

(百万円)

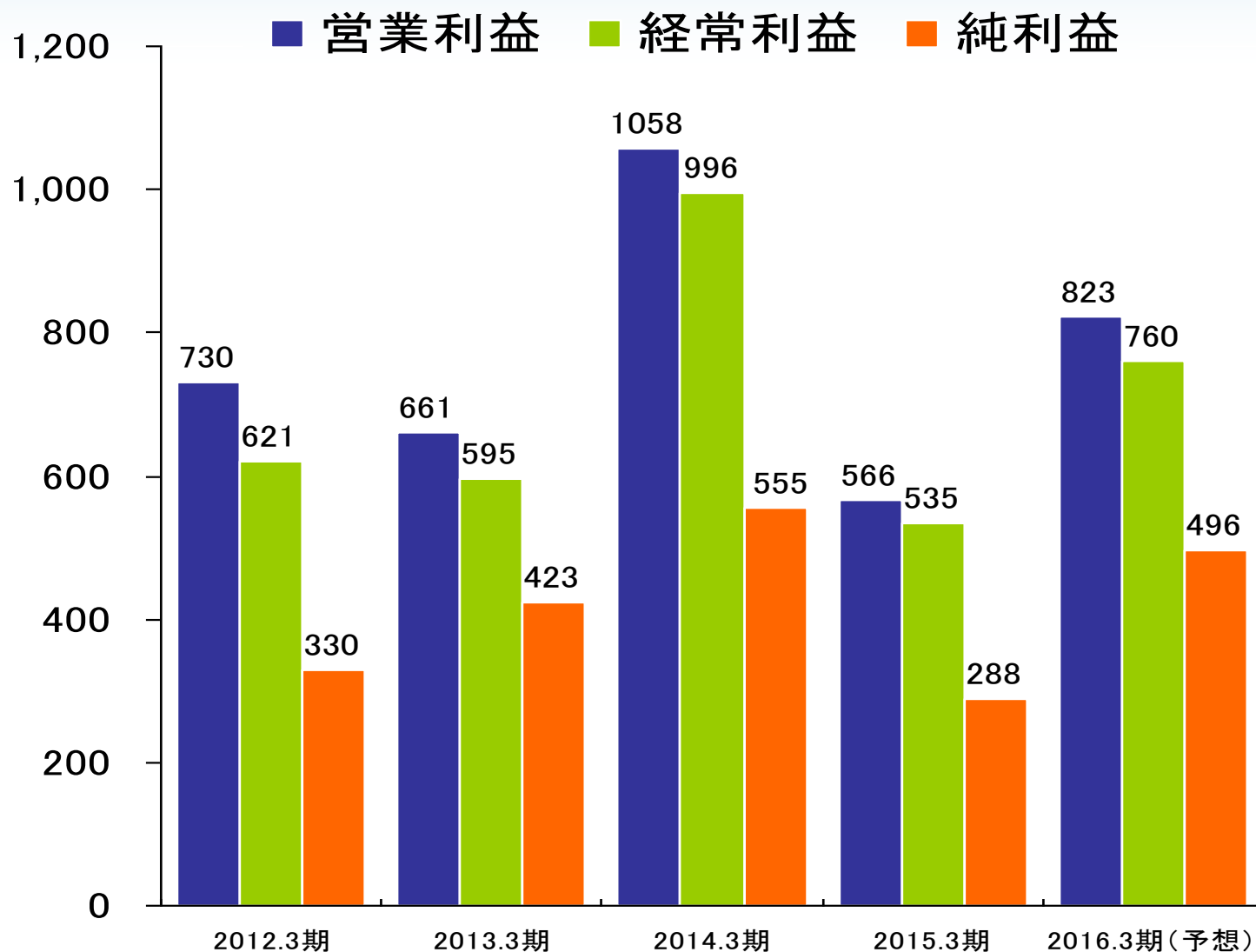


事業別売上高構成比(2015.3期)



業績推移と今期予想(営業利益・経常利益・純利益)

(百万円)



貸借対照表(2015.3期)

単位:百万円

資産		負債・資本	
現金及び預金	1,507	流動負債	7,594
商品及び製品	2,412	固定負債	3,618
		負債合計	11,213
流動資産合計	4,528	資本金	1,161
有形固定資産	9,853	資本剰余金	1,148
無形固定資産	67	利益剰余金	1,572
固定資産合計	10,735	株主資本合計	3,716
資産合計	15,263	純資産合計	3,882
		負債純資産合計	15,263

店舗開発費用(土地及び建設費)を銀行借入でまかかってきたため負債比率は高い

【基本方針】

将来の事業展開と経営体質の強化をしつつ、
連結当期純利益の20%程度を目安に安定配当を継続

2016年3月期 配当金予想

	配当性向(連結)	1株当たり配当金
2014.3期	18.3%	50円
2015.3期	36.4%	50円
2016.3期(予想)	21.2%	50円

※ 業績や資金需要に大きな変動が生じた場合、期末配当金額を変更することがあります。



当社の株主様を対象に、鈴鹿サーキット国際レーシングコース(5.8Km)を使用いたしまして、先導車両付きマイカーランを実施させていただきます。
当社グループ取扱車種もご用意致しておりますので、ご試乗頂くことも可能となっております。数々の名勝負の舞台となった鈴鹿サーキット国際レーシングコースを自らのドライビングでアタックしてみませんか。
是非、この機会に、ふるってご参加ください。

【参加資格】 普通自動車免許をお持ちの当社株主様

【参加車両】 一般公道の走行可能な4輪車両

【日程】 2015年6月25日(木)

【スケジュール】

受付時間 13:30 センターハウス2F
ブリーフィング 14:00 センターハウス2F/走行に関する事前説明会
走行時間 14:30~15:30

【集合場所】 鈴鹿サーキット 国際レーシングコース センターハウス

【会費】 無料

【申込方法】

本用紙の裏面に記載の注意事項、誓約事項をご確認頂き、必要事項をご記入の上、下記お申込先までFAXにてお申込み下さいませ。ご記入頂いたご連絡先電話番号に当社よりご連絡致します。

【お申し込み先】 ICDAホールディングス株式会社 総務課 FAX/059-384-2881

【お申込期限】 2015年6月22日(月) 18:00 まで

【問い合わせ】

申込に関するお問い合わせ先
ICDAホールディングス株式会社 総務課 TEL:059-381-5540

走行会に関するお問い合わせ先

株式会社モビリティランド 鈴鹿サーキット 営業部営業課 担当:川畑・石谷
TEL:059-378-1300(平日/9:00~17:00)



鈴鹿で株主をおもてなし

ICDAホールディングスが優待企画



グループで扱う車両計21台を用意した

この企画は、普通自動車免許というものを、走行前はドラインで、スポーティーカーのほか、1BOXやセダンといった普段使用する乗用車での参加がほとんど。まずマイカーの運転によるコースレイアウトを実際に確認した。続いて第2、第3セッションでは、ICDAグループが用意した車両による走行を行った。この日用意した車両は、5台の「S6ト」、130Rなど558ccの排気量、600ccの排気量「レンジ」から「ステップワゴン」や「シヤル」などのホンダのフルラインアップで計15台、このほか「911」や「マカロン」といったポルシェ車、フォルクスワーゲンとアウディもそれぞれ2台。乗車希望車両を投票し、多数の場合は抽選で決定した。

愛知県から参加した投資家(男性40代)は「この企画は今回初めて知り参加した。特に自動車乗用車やキータスポットに関心があるが、なかなか、せっかくのチャンスだと思いついた。学生の頃F1レースを観に来たが、そのコースを自分で運転してみたいという思いが強かった。今回は素晴らしい体験ができ、一生の思い出になることと感想を語った。また、主催者であるICDAホールディングスでは、グループ全体で株主をおもてなしする(参加希望も増えた。我々もステップワゴンで動き、株主とともに楽しんで)として今後も続けていく(向井弘光社長)としている。同ホールディングスは、2013年6月にJASDAQに上場。その後11月に名証2部。そして昨年6月には東証一部に市場変更している。今回の企画は、上場後の株主優待の一環として行っているもので、来年も株主総会と同様の開催を予定している。

【注】ホンダ四輪販売(重北)を核とするICDAホールディングスが25日、株主を対象とした「マイカーラン」を鈴鹿市の鈴鹿サーキットで開催した。国際レーシングコースを株主が持ち込む車両で走行する企画で、昨年が続いて2回目の開催となった。同日にサーキット内施設で開催した株主総会後の株主に対する優待企画として実施しているもので、今回は前回の40人を回る46人が参加した。株主のマイカーによる走行のほか、同社グループで取り扱うホンダ車や輸入車なども用意し、株主は自らハンドルを握り、国際的なコースでの走行を楽しんだ。

サーキット走行を楽しむ

掲載日 日刊自動車新聞朝刊 平成27年(2015年)7月3日
日刊自動車新聞社より使用の許諾を得ています。無断複製・転載を禁じます。

本資料には将来の見通しについての記載が含まれていますが、これらは発表時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、経済情勢や市場動向等の変化により予想と大きく異なることがあります。

また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。

今後、新しい情報が入った場合においても、当社は本資料に含まれる見通しに関する情報の修正や更新を行う義務を負うものではありません。

本資料及び当社IRに対するお問い合わせ先
ICDAホールディングス株式会社 管理部総務課
TEL: (059) - 381 - 5540